

ワシニャン通信

2020
8月



担当:中島

現在、感染報告が増加中の**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**！

という感染症をご存じですか？

有効な治療法はなく、対症療法が中心となり、致死率も高い恐ろしい病気です。当院でも SFTS 陽性症例が出ており、SFTS は誰もが注意する必要のある、身近な恐ろしい病気なのです。



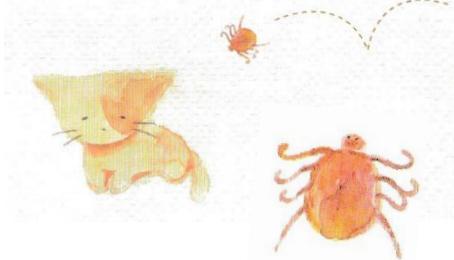
どうやって感染するの？

SFTS に感染したマダニの吸血により、病原ウィルスが感染する病気です。

感染した動物（犬、猫）から人へ、また人から人への感染も血液、唾液などの体液を介して感染することが確認されています。



近年ではネコちゃんへの感染が多く報告されています。
当院でも陽性例あり！！



SFTS の症状（SFTS は感染した動物によってその症状が異なります）

症状	猫	ヒト
臨床所見	発熱、活動性低下、食欲低下、嘔吐など	初期症状は発熱、筋肉痛、頭痛、消化器症状（嘔吐、腹痛、下痢）など
経過	血小板減少、白血球減少、総ビリルビン値の上昇、黄疸など	血小板減少症、白血球減少症が特徴的に認められ、肝酵素や電解質異常を伴うことが多い
		潜伏期間は 6 日～2 週間程度

1年を通してマダニ対策！



SFTS ウィルスを伝播するマダニのひとつ、キチマダニは冬でも活動していることが知られています。

SFTS への感染リスクを少しでも抑えるために、夏の時期だけでなく、通年でのマダニ対策が必要です。

草木の多い場所には要注意！

マダニは森や野山へのお出かけだけでなく、公園や河川敷など、草木や水のある身近な場所にも潜んでいます。

飼主さんは服装チェック、帰宅時にはマダニのチェック！

野外では腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう。

上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう。

屋外活動後はシャワーや入浴でダニが付いてないかチェックしましょう。

ガムテープを使って服についたダニを取り除く方法も効果的です。

シャツの袖口は手袋の中へ

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用

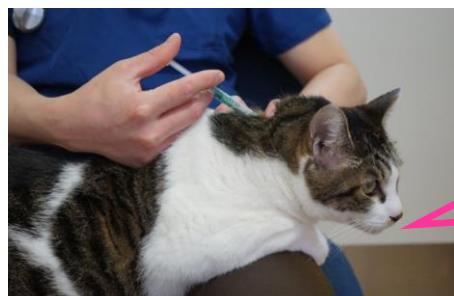
シャツの裾はズボンの中へ

山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう

農作業や草刈りなどではズボンの裾は長靴の中へ

ネコちゃんワンちゃんはお薬での対策を！

マダニ駆除薬の使用により、SFTS ウィルスの感染リスクを減らすこと、人への生活環境へのマダニの持ち込みを減らすことが期待されます。



背中にお薬を垂らしてもらうだけ。
簡単だよ♪